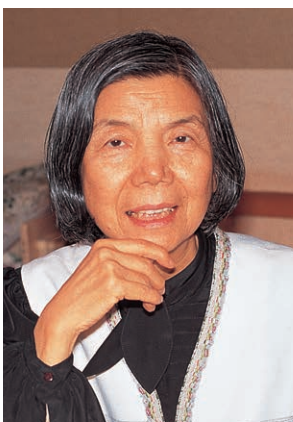


◆2022年10月の新刊

日本キリスト教団出版局



三浦綾子生誕100年記念出版！『信徒の友』連載を単行本化

あらすじで読む 三浦綾子 名著36選

もりした たつ え

森下辰衛 監修

三浦綾子記念文学館特別研究員

かみ で けい こ

森下辰衛

／上出恵子

活水女子大学名誉教授

おく の まさもと

／奥野政元 著

活水女子大学名誉教授

『氷点』『塩狩峠』『海嶺』『銃口』など、今でも多くの読者を惹きつける三浦綾子の作品。その中から36作品を厳選し、三浦文学の専門家3名が「背景と解説」「あらすじ」を紹介する。人間の生き方を考えさせ、時代を超えて読み継がれる三浦文学の魅力が詰まった一冊。

四六判 並製・160頁・定価1,760円（本体1,600円＋税）

ISBN978-4-8184-1039-8 C0095

目次

今、なぜ三浦綾子なのか（森下辰衛）／氷点／続氷点／ひつじが丘／塩狩峠／道ありき／天北原野／海嶺／泥流地帯／続泥流地帯／銃口／裁きの家／積木の箱／この土の器をも／愛の鬼才／細川ガラシャ夫人／草のうた／夕あり朝あり／母／石ころのうた／岩に立つ／われ弱ければ／ちいしば先生物語／千利休とその妻たち／嵐吹く時も／広き迷路／残像／青い棘／石の森／水なき雲／果て遠き丘／自我の構図／雪のアルバム／あのポプラの上が空／帰りこぬ風／病めるときも／貝殻



【好評発売中】『愛は忍ぶ 三浦綾子物語——挫折が拓いた人生』 三浦綾子記念文学館＝監修 日本キリスト教団出版局＝編 定価1,320円

◆2022年10月の新刊

日本キリスト教団出版局

クリスチャンの精神科医が語る「老いは恵み」

老いと祝福

い し ま る ま さ ひ こ

石丸昌彦 著

1957年生。愛媛県出身。1979年東京大学法学部卒業。
1986年東京医科歯科大学医学部卒業。1994～97年米国ミ
ズーリ州ワシントン大学精神科留学。1999年東京医科歯科大
学難治疾患研究所講師。2000年～桜美林大学助教授、教授を経て、2008年～放送大学教授。専攻は精神医学。
キリスト教メンタルケアセンター（CMCC）副理事長。日本基督教団柿ノ木坂教会員。

祝福とは何か。クリスチャンの精神科医がその意味を聖書からひもときつつ、老いの恵みを考える。超高齢社会を直視し死生観にも踏み込みながら、健やかな日々を過ごすコツを伝授。「時を経ても古びないもの、時を超えて新しいもの」をさまざまな側面から提言する。

四六判・並製・216頁・定価2,420円（本体2,200円＋税）

ISBN978-4-8184-1114-2 C0036



2022年
10月25日
刊行予定

目次

序章 祝福とは何か 祝福を考える／苦難の意味

第1章 今日の老いの現実

超高齢社会の到来／健康寿命の延伸／病魔と戦災——軀からの解放／祝福を曇らすもの／速すぎる技術の進歩／速すぎた社会の変化／長谷川和夫先生のこと／認知症と信仰／周囲の心得——人として向き合うこと／社会のわきまえ——皆が生きやすいように

第2章 「老い」を見直す世界の流れ

「老い」の二面／流動性知能と結晶性知能／エイジングという発想／離脱から超越まで／エリクソンと統合の季節／映画『野いちご』／ライフサイクルと四季のたとえ／年寄りには簡単なこと／「死生観」の残念な歴史／高齢期と死生観

第3章 老いの日々を健やかに

高齢期のメンタルヘルス／高齢期の妄想／加齢の効用／70年目の気づき／睡眠の心得／一日のリズム／自殺とその対策／笑いの効用／聖書とユーモア／高齢期の読書と執筆

第4章 聖書の教えと親の背中

聖書の中の長寿と老い／年長者の思いとレハブアムの蹉跎／高齢者の役割／曾祖父の決断／岳父のこと、母のこと／存命の喜び／孤独——死に至る病／孤独を克服させる力／時を経ても古びないもの、時を超えて新しいもの／老いゆこう、我とともに

2022年11月 新刊買切案内 日本キリスト教団出版局

日本基督教団の全貌を示す唯一の重要な基礎資料

2023年版は2022年11月21日刊行予定！

日本基督教団年鑑

2023

通巻第73巻

日本基督教団年鑑

2023

日本基督教団事務局 編

収録
内容

- ◇1925年から現在に至る日本基督教団の記録
- ◇組織
- ◇所属教会・伝道所、関係学校・団体・保育所・幼稚園、
教師、各名簿
- ◇教勢一覧
- ◇教会・伝道所統計 その他

A5判・並製・550頁・定価3,520円（本体3,200円＋税）
ISBN978-4-8184-1122-7 C0002



神の物語としての聖書

J. ゴールディングイ 著 本多峰子 訳



旧新約聖書66巻に紡がれた、 神の物語の中へ——

聖書が書かれた歴史的・地理的背景を知り、各書の文学ジャンルごとの特色を味わう。
世界に向けて語られた神の言葉の受け取り方を、今日の私たちに教える入門書。

〔目次〕

第1部 神の物語と、神の世界の中での神の言葉／第2部 神の物語と神の民／
第3部 神の民への神の言葉／第4部 神へのイスラエルの民の応答

著者紹介 J. ゴールディングイ 1942年英国バーミンガムに生まれる。オックスフォード大学卒業、哲学博士（ノッティンガム大学）。1967年英国聖公会司祭に叙階。現在、フラー神学校名誉教授（旧約聖書学）。

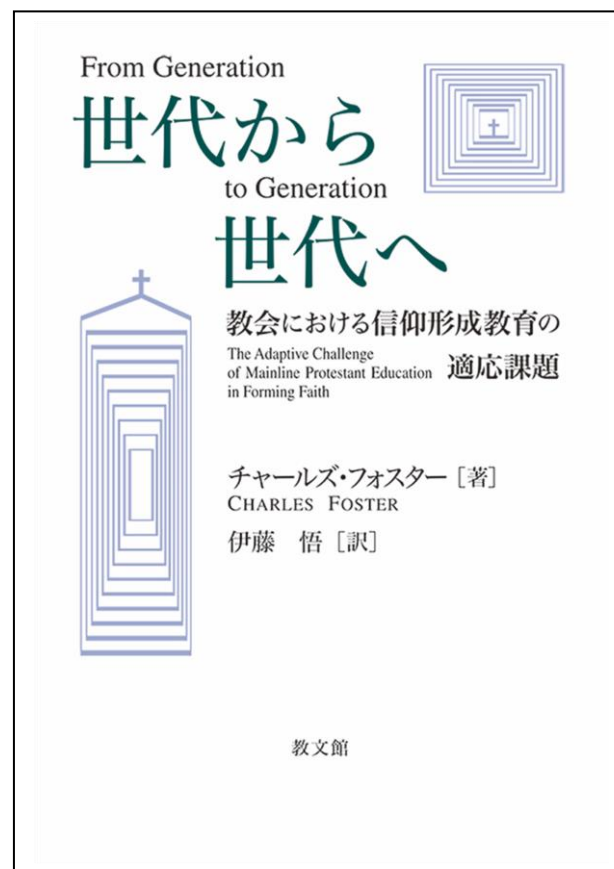
著書 The Old Testament for Everyone (Louisville: Westminster John Knox Press, 2011-) ほか多数。

訳者紹介 本多峰子 1989年学習院大学大学院博士後期課程修了、文学博士（イギリス文学）。東京大学総合文化研究科博士課程修了、学術博士。現在、二松學舎大学教授。日本基督教団教師。

著書 『悪と苦難の問題へのイエスの答え——イエスと神義論』（キリスト新聞社、2018年）ほか。

訳書 N. T. ライト『悪と神の正義』（教文館、2018年）、A. E. マクグラス『旧約新約聖書ガイド』（教文館、2018年）ほか。

四六判・並製・220頁・定価2,640円（本体2,400円＋税） ISBN978-4-7642-6758-9 C0016



目次より

- 第1章 信仰を形成する教育
- 第2章 何が起こったのか？ 適応課題！
- 第3章 信仰を形成する学び
- 第4章 信仰問答（カテキズム）的文化としての教会
- 第5章 適応へ向けた変革と教育的イマジネーション

世代から世代へ

教会における信仰形成教育の適応課題

チャールズ・フォスター著 伊藤 悟訳

四六判・並製・300頁 定価3,740円（本体3,400円＋税）

ISBN 978-4-7642-6756-5 C3016

子どもたちは
なぜ教会からいなくなってしまったのか？

信仰的伝統を継承していくために必要な

新しい教育的イマジネーションとは何か？

教会教育の碩学が提言する

適応課題（アダプティブ・チャレンジ）と取り組み！

著者 チャールズ・フォスター（Charles Foster）

米国エモリー大学キャンドラー神学校宗教教育名誉教授。「牧師教育」研究プロジェクトディレクター。

著書：『Educating Clergy: Teaching Practices and Pastoral Imagination』, Jossey-Bass, 2005 ほか。

訳者 伊藤 悟（いとう・さとる）

青山学院宗教部長・青山学院大学教育人間科学部教授。

著書：『神の揺さぶり——はじめてキリスト教と出会う人たちに』（一麦出版社、1996年）、『地の塩、世の光——人物で語るキリスト教入門』（共著、教文館、2006年）、『大学の祈り——見えないものに目を注ぎ』（共著、日本キリスト教団出版局、2022年）ほか。

反ナチ抵抗運動とモルトケ伯

クライザウ・サークルの軌跡

雨宮栄一 [著]

四六判・上製・364 頁・本体 3,500 円（税込定価 3,850 円）
ISBN 978-4-400-21337-6 C1016



敗戦後の新生ドイツを望み見て 再建案を構想した人々

クライザウ・サークルとは、ナチに反対し、ドイツ敗戦を見越して戦後の再建構想を練った、ユンカーをはじめ、神父や牧師、学者、労働運動指導者など、様々な人が参加したグループである。彼らの大半はゲシュタポに逮捕され、死刑に処せられた。本書は、この知られざる抵抗運動の中心人物であった法律家ジェームズ・フォン・モルトケの人物像と思想、とりわけキリスト教との関係を明らかにした労作。著者の遺作となった。

著者紹介 雨宮栄一（あめみや・えいいち）

1927 年生まれ。1953 年日本基督教神学専門学校卒業。1962-63 年西ドイツに留学。日本基督教団山梨教会、阿佐谷東教会、東駒形教会牧師を経て、中部学院大学教授を務めた。2019 年逝去。著書：『バルメン宣言研究』、『ドイツ教会闘争の展開』、『日本キリスト教団教会論』、『ユダヤ人虐殺とドイツの教会』、『ドイツ教会闘争の挫折』、『二人の平和主義者の殉教』、『主を覚え、死を忘れるな』、『青春の賀川豊彦』、『貧しい人びとと賀川豊彦』、『暗い谷間の賀川豊彦』、『若き植村正久』、『戦う植村正久』、『牧師植村正久』、『評伝高倉徳太郎 上・下』、『評伝井上良雄』、『フリードリヒ・ユストゥス・ペーレルス』ほか。

【目次より】

序に代えて

- 第 1 章 ヘルムート・ジェームズ・フォン・モルトケの若き日
- 第 2 章 国防軍諜報部に入るまで
- 第 3 章 クライザウ・サークル誕生とジェームズの国家理解
- 第 4 章 抵抗運動とキリスト教信仰
- 第 5 章 第一回クライザウ協議会とその後の活動
- 第 6 章 第二回協議会とその他の抵抗運動との交渉
- 第 7 章 第三回協議会から逮捕まで
- 第 8 章 死に直面した信仰
- 第 9 章 その後のフライヤ

終わりに

クライザウ・サークル参加者表

文献表

あとがき（戒能信生）

アガペーとフィリア

原口 尚彰 著

愛についての聖書学的考察

● A5 判並製 158 頁 ● 定価 1,760 (本体 1600 円+税)

「愛」はキリスト教倫理の中心的主題の一つであるが、その起源は旧新約聖書にあり、聖書の証言を精査することが愛についての神学的考察の出発点である。

旧新約聖書のかなりの部分は物語的記述であり、愛の主題に関しても登場人物たちの行動を叙述することを通して愛の実相を明らかにしている。また、新約聖書も愛の

教説についての指導者たちの発言を伝えると共に、福音書の物語の登場人物たちの行動の描写を通して隣人愛や兄弟愛や友愛や師弟愛の現状を描いている。本書は聖書に描かれている愛の多様な実態を確認すると共に、聖書における愛の教説の分析を行って、聖書が語る愛の主題の全体像を明らかにする。

著者紹介

原口 尚彰 (はらぐち たかあき)

1953 年生まれ。1977 年、東京大学法学部卒業。1982 年、日本ルーテル神学校卒業。1991 年、D.Th. (シカゴ・ルーテル神学校) 取得。

聖和大学助教授、東北学院大学教授、フェリス女学院大学教授を経て、現在、日本ルーテル神学校講師、日本聖書神学校講師。

著書 『パウロの宣教』(教文館 1998 年)、『ガラテヤ人への手紙』(新教出版社 2004 年)、『新約聖書概説』(教文館 2004 年 [オンデマンド版 2019 年])、『信じることと知ること』(東北大学出版会 2005 年)、『ロゴス・エートス・パトス：使徒言行録の演説の研究』(新教出版社 2005 年)、『新約聖書釈義入門』(教文館 2006 年)、『新約聖書神学概説』(教文館 2009 年)、『ローマの信徒への手紙 上・下巻』(新教出版社 2016、2021 年)、その他新約学関係の論文多数。

訳書等 『新約聖書釈義辞典』第 3 巻 (共訳 教文館 1995 年)、U・ルツ『マタイの神学』(教文館 1996 年)、P・シュトゥールマッハー『聖書神学をどう行うか?』(教文館 1999 年)。

【目次】より

I 旧約聖書における愛の主題

II 初期ユダヤ教における愛の主題

III 新約聖書における愛の主題

VI まとめと展望



青野太潮 [著]

西南学院大学名誉教授、最初期キリスト教史
平尾バプテスト教会協力牧師



ヨベル新書 083

どう読むか、聖書の「難解な箇所」

「聖書の真実」を探究する

11月10日刊行予定

「大いに疑問を持つ」探求者に、
聖書は真実の姿を明かし始める。

訳語、解釈の如何によって天地が入れ替わるほど真逆の結論に導かれてしまう。互いに矛盾し合う場面に満ちてもある。この難解な聖書とどう向き合えばよいのか。これを正典として信仰を培うとはいかなることか。新約聖書学者がその「難解な箇所」を敢えて取り上げ、正面から挑んだ！

『どう読むか、新約聖書 福音の中心を求めて』に続く、
青野太潮のヨベル新書、好評第2弾。



新書判・240頁・1,210円
本体1,100円＋税
ISBN978-4-909871-79-4 C0216



新書判・288頁・1,320円
本体1,200円＋税 ISBN978-4-909871-79-4 C0216

主な目次

I部 どう読むか、聖書の「難解な箇所」 ——「聖書の真実」を探究する

- なぜペトロは悲しくなったのか
(ヨハネによる福音書21章17節)
- 「インマヌエル」の神(マタイによる福音書10章29節、
第一コリント10章13節)
- 「すべてのことが許されている」は、他人の言葉の引
用？ それとも、パウロの本心？(第一コリント6章12
—20節)
- 「弱くはなくて、強い」？ それとも、「弱いからこそ、
強い」？(第二コリント12章7—10節、13章3
—4節)
- 「弱さのゆえに十字架に」？(第二コリント13章4節)
- 「教会はキリストの体」？ それとも、「キリストは
教会の頭」？(第一コリント12章23節/コロサイ1章18節)

- 主の晩餐の順序は、「杯→パン→食事→杯」？ そ
れとも、「パン→杯」？ それとも、「パン→食事
→杯」？(第一コリント12章23節/コロサイ1章18節)
- 「主の晩餐」とは何だったのか——前回におけ
る考察を受けて
- 「婦人たちは恐ろしかったので黙っていたのか？
それとも、「恐ろしかったけれども、喜んで伝え
たのか？」(マルコ16章8節/マタイ28章8節)
- 「十字架につけられたままのイエス・キリスト」
- 神の啓示と人間の思いとの間の「呼応」する関係
- 預言をする者に働きかける霊は、その預言をする
者の意に服従する。(第一コリント14章32節)

II部 第一コリント書研究

パウロから読み解く「十字架につけられ給ひしま
なるキリスト」

- パウロはなぜ冒頭で「分争」に言及するのか
- 「分争」の問題から「十字架の言葉」についての
議論へ
- 十字架につけられ給ひしまなるキリスト
- イエスの「十字架」と「死」の区別
- 神の召しのもつ逆説的性格
- 私もまたイエスのように
- 弱さのゆえに十字架につけられたキリスト
- ともに十字架につけられてしまっている私たち
- パウロにおけるイエスの言葉と振舞の反映
- 神の肯定的なさばきと十字架の逆説
- キリストのからだとしての教会
- 復活のキリストは十字架のキリスト

あとがき——『どう読むか、聖書の「難解な箇所」』

著者紹介 青野太潮(あおの・たしお) 1942年静岡県生まれ。国際基督教大学、東京大学大学院を経て、スイス・チューリッヒ大学神学部博士課程修了。神学博士号(Dr. theol.)取得。現在—西南学院大学名誉教授、平尾バプテスト教会協力牧師、日本新約学会前会長(2009年—2017年)。専攻：新約聖書学、最初期キリスト教史。

著書：『十字架の神学』の成立(ヨルダン社/新教出版社)、『十字架の神学』の展開(『十字架の神学』をめぐって)、『最初期キリスト教思想の軌跡』(ともに新教出版社)、『パウロ書簡』『聖書を読む 新約篇』、『パウロ 十字架の使徒』(ともに岩波書店)、『十字架につけられ給ひしまなるキリスト』(コイノニア社/新教出版社)、『どう読むか、新約聖書』(ヨベル) その他、共著、訳書、多数。

伝道シーズンのための新作



B6判 116頁 定価550円(本体500円+税)
ISBN978-4-264-04391-1 C0016
いのちのことば社 卸コード 18005

メリー・クリスマス・ トゥ・ユー！ あなたに伝えたいこと

7人のメッセンジャーによる、クリスマス为主题にした7本の伝道メッセージ集。1本1本が初めての人にも読みやすく、分かりやすく、クリスマスの本当の意味がしっかり伝わってくる。ちょっとしたプレゼントにも使いやすい一冊。

執筆者・メッセージタイトル

- | | | |
|------------------------|-------------------|---------------|
| 大嶋重徳 (鳩ヶ谷福音自由教会牧師) | 神の夢を見るクリスマス | マタイ 1・18～25 |
| 大田裕作 (アンテオケ宣教会総主事) | 飼葉桶の中に | ルカ 2・1～7 |
| 錦織 寛 (東京聖書学院学院長) | 大きな恐れ・大きな喜び | ルカ 2・8～20 |
| 菊池 実 (東京基督教大学教授) | 幼子イエスを見出したアンナ | ルカ 2・22、36～38 |
| 神山美由記 (嘉手納アッセンブリー教会牧師) | こまって…、わかった！豊かな回り道 | マタイ 2・1～12 |
| 岸本大樹 (大阪聖書学院学院長) | 神様の子どもに！ | ヨハネ 1・9～13 |
| 安藤理恵子 (玉川聖学院院長) | 疲れた者を立たせる神 | マタイ 11・28～30 |